（本號十面）　（明治廿五年十二月廿一日　第三千五百二十一號　郵便報知新聞第三種物價表第三種郵便物認可）　明治二十五年十二月十日　（定價金二錢）

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

第三千五百二十一號
明治廿五年十二月十日　土曜日
舊暦壬辰十月廿二日（丙子）
日出午後六時四十二分　入午後四時二十七分
月出午前十一時五十七分　入午前一時四十二分
滿潮午前九時三十七分　干潮午後十時四分
（西暦一千八百九十二年）

時事新報

傳染病の豫防は國家事業の大なるものなり其豫防いよ〳〵密なれば病の襲來も亦いよ〳〵繁く夏期のコレラのみならず鷹窒扶斯、赤痢病、ヂフテリヤ等の如き時を擇ばずして猖獗を逞ふする此際に當りては豫防の手當ます〳〵等閑に附す可らざるは云ふまでもなきみとなるに愛に豫防法の實施に意の如くならざるものありとて國手松山棟庵氏が一編の意見書を記したり書中の文字皆學理を重んずるの精神より出で〳〵遂に古流醫道の存廢にまで論及したり依て本紙上に抗竄して社說に代ふ

傳染病の豫防を如何せん

時事新報記者記

凡そ傳染病の慘害を社會に流すや極めて猛惡にして殆んど常人の意想外に出るみと多し彼の虎列刺病及び窒扶斯熱の如き一たび流行の勢を逞ふするときは僅々數閲月にして幾十萬人の生命を奪ひ幾百萬圓の財產を烏有に歸せしめ人々日夜安寧の時なく商賣工業學校教育其他百般の人事を休止するに至るみとあり豈恐れざるべけんや豈之が豫防法を等閑に付して可ならんや抑も安政四年に當り虎列刺病の大に流行せるや當時未だ豫防の方法を知らざりしを以て其勢最も猖獗を極め爲めに死亡せる者數十萬人の多きに及べりと云ふ大政維新以來文明東漸の故を以て我國の醫學も亦大に進歩し始めて傳染病毒の性質如何を知るみとを得たりと雖も政府は未だ之が豫防法を規定するに至らざりしが明治十二年偶ま虎列刺病の大流行あるに際し政府は遽に其豫防假規則を發布し以て虎軍の防禦に從ひしが其事たる官民共に未だ經驗なき所なりしを以て實地に臨み周章狼狽頗る甚だしく巨萬の金額を消費して其得たる所の結果は甚だ妙ならず蓋し病毒を撲滅するに於て多少功を奏せしならんと雖も他日見るべきものは只無智の人民をして惡義を謬戴せしひるの習慣を作りたるに過ぎざるのみ今日より當時の實況を追懷すれば捧腹に堪へざるもの一にして足らざるを覺ゆべし然りと雖も虎列刺病流行の爲めに我國衛生上の法律を規定し且つ大に其軍業の進歩を促し兼て又世人をして衛生の何物たるを知らしひるの端緒を開きたるは之を虎列刺病の賜なりと云ふも蓋し誤言に非ざるべし抑亟明治十三年七月に至り政府は傳染病豫防規則を發布し且之に國律を附せる內務省令、警察分府令、縣令等該病に關係せる衛生法規の如きは頗る精密を極め殆んど遺憾なきに至れり然り而して爾來之を實地に施行し該當官吏は黽勉怠慢なるみとなきも傳染病の流行は年々歲々已むことなく腸窒扶斯は已に全國に蔓延し赤痢病の如きは九州四國中國より畿內に侵入し遂に東海に傳播せるを以て是れ亦腸窒扶斯の如く驚きに全國の一大傳染病たらんとするの勢あり斯の如く傳染病毒を撲滅すると能はずして豫防の功績を收め得ざる所以の者は果して何ぞや必す其故なきを得ず蓋し我輩の所見を以てすれば衛生法規は縱令ひ金科玉條なるも又之を行ふ該當官吏は縱令ひ明識敏捷なるも常に傳染病豫防をして其功を空しからしむ所の二大原因あるが如し今此原因を究明するは國家衛生の要務たるを信ずるが故に左に其概略を陳述して以て識者の教を乞はんとす

抑も傳染病豫防規則及び之に隨伴せる諸法令の精神目的は只此傳染病の原因たる病毒を撲殺し盡すに在るが故に此種の法令は悉皆歷然たる文明の學理を根據として規定せる所なり是を以て不文醜昧の世に行はれたる空論漢說の如きは毫も間然するを許さゝるみと勿論なり左れば斯る法令の下に在て病を診斷治療し且其豫防消毒の大部分を負擔すべき醫師たる者は素より文明の學理に通曉するに非ざれば勞して其益なく却て害を招や明なり彼の虎列刺病の流行時に際し或は檢疫醫となり或は豫防醫となり或は避病院の治療醫となり死地に臨で虎軍と戰ひたるものは日進醫學を修めたる醫師たりしに非ずや以て文明學術の必要を知るに足るべし斯の如く傳染病を豫防するに學術を要するは猶遠洋の航海に學術を要するが如し船中に裝置せる蒸氣機關、羅針盤、風雨鍼、測量器等は悉皆文明の學理を根據として製作したるものにして苟も海員たる者にして之を使用するの學識なきに於ては焉ぞ能く怒濤狂瀾の間に安穩なる航海を遂るを得んや是れ誠に理の見易き所の者なり然るに我國の醫師は千年以前の世に行はれたる彼の陰陽五行の說を根據とし專ら草根木皮を以てのみ患者を治療する所の漢法醫流の人々を以て其半を占むと云ふ蓋し此流派の人々は固より傳染病毒の何物たるを知るに由なく又其消毒藥及び之を使用するの理由目的を解せざるが故に文明の學理を以て之を律すれば漢法醫道は決して學問視すべきものに非ざるや論を俟たず斯る無稽なる醫流を奉ずるの人々をして現行衛生法規の下に居り以て傳染病を診斷治療し且其豫防消毒を負擔すべきの地位に在らしむるは猶日本丸流の船頭輩をして軍艦の海員たらしむるが如し誰か之を危險なしと云ふを得るや然らば則ち傳染病豫防に益なくして却て害ある者は漢法醫道に在るを明瞭なるみとを云ふを得るや然るに足るべし之を傳染病の豫防をして常に其功を空しからしむる所の一大原因なりとす（以下次號）

雜報

○金融の大勢

現時金融緩慢の由來したる原因は何れにあるや多くは二十三年に於ける恐慌の結果なりとして更らに怪まざるものゝ如く景氣回復と共に金融市場の狀態も舊に復すべしとの想像を描き居たるに景氣の點は想像の如く外國貿易の好結果と內地天產物の豐作とにより本年に入て物價騰貴商況活動の氣運に向ひたれども金融は更らに繁忙の兆候を示さゝるのみか却て反對の方向に傾き年末接迫の今日に際して日本銀行は金利を引下げ各〻銀行亦同盟して預金に對する利子引下を實行するなど遊金往々市場に溢れて憂の想像は遂に齟齬するに至れり左れば眞の原因は如何是れ今日に於て講究すべき經濟上の一問題なりとす

複雜たる經濟問題を解釋するに一二の要素を求め得たりとて直ちに之を取て唯一の原因となし其原因に由て此結果を得たりとの判斷を下すは素より不可なり現時金融の緩慢なるも亦尤小幾多の原因總合して其由來する所單純ならざるは明白なれども試みに其最も有力なるものを云へば近來銀價大に下落して外國貿易は輸出に都合好く輸入に不便なる其結果として國內に銀貨增加の大勢を生じ通貨は漸次增加すべき傾向あるに他の一方に於ては近年銀行業務大に發達して凡ての取引に通貨を要するの高減少し只さへ通貨增加の大勢ある其處へ本年は生絲製茶の輸出貿易極めて好都合なりしかば忽ち通貨增加の大勢を眼前に現はし殊に今日の金融を現出したるもの〻如し

●外國貿易の結果　近年外國貿易上に著るしき變化を起して輸出は常に輸入に超過し生絲と云ひ茶と云ひ織物と云ひ雜貨と云ひ凡て我より出ものは高價に賣行きて而かも其數益を增加するに引換へ彼より入るものは次第に減少して一年間に輸出の輸入に超過する總高殆んど一千七八百萬圓に達したれば昨年來我國に輸貨を吸收したる高は實に三千萬圓に近し此大金か僅か一二箇年足らずの間に流入し來りたるみとなれば我國の經濟社會に活氣を含まざらんとするも得べからざるなり尤も外國貿易の近年偶かに漸る變狀を呈したるは目下世界の大問題たる銀貨の下落に由來したるものにして輸出超過の一事は甚だ喜みふべきがごとくなれども結局銀貨下落の爲めに我國は如何なる影響を受くべきか今少しく問題を大にすれば銀貨問題の將來は如何是れ實に講究すべき大問題なりとす然れども目下金融緩慢の原因を求むるに偏り將來の銀貨問題には關係薄きが故に其事は姑く擱き現に角銀貨の下落は我國が貿易上に保護政策を用ひたると略ゝ同樣の結果を顯はし內國品を高價に賣捌くと同時に外國品の輸入を妨げ其差金は硬貨にて吸收するみとなれば日本銀行の正貨準備金の如きも一時銀貨は僅かに一千八百萬圓に減じたるに昨今は增して五千二百餘萬圓となり金銀合計七千四百萬の多きに達し隨て流通は增加するの傾きあり而して一方の商工社會は如何にと云ふに外國品は爲替相場の爲め非常に相場を進めたれば一般に購買者を減じて何れも內國品に意を傾け內國品は內に於ても外國に向ても賣行活潑にして追々需用を增加したれば商品の荷動き劇しき丈に工業も日增に繁忙を告げ工業繁忙なるが故に石炭の需用を增加し石炭其他原料として粗大なる商品の需用多きが故に運送業は多忙なるなど夫れより夫れと輪轉し來りて商工は俄かに活氣を帶び頗る盛況に向へり元來商況と金融とは密接の關係を有して商況活動すれば金融も亦繁忙を免ゆるみと普通の例なれども今般の如きは需や其盛きを異にし如何に商況の活動するも通貨の受授は矢張り內國にして外國に向て は少しも流出を出すみとなきのみか却て此一兩年間に三千萬圓も吸收し居るとなれば流貨は次第に增加して商況の活動は金融を動かすに足らず世間の景氣は次第に好況に向ふにも拘らず遊金は依然市場に溢るゝものなるべし蓋し近頃金融の緩慢なるは商況萎靡して流貨使用の途絕少しとして